



いのちを輝かせ、なかまと共に100%頑張れる生徒



今年度の伊奈中のスローガンを生徒の皆さんにお伝えしてから7か月が過ぎ、今年も残すところあと少しとなりました。

文化面・学習面とも生徒の皆さんの素晴らしい活躍が見られた1年となりました。特に、男子卓球部と3年生所属のソフトテニスチームが団体で関東大会出場、吹奏楽部は県吹奏楽コンクールで金賞を受賞しました。個人では、3年生が卓球で、2年生がバドミントンで、2年生がテコンドーで全国大会に、1年生が水泳で関東大会に出場しました。税の作文では3年生が、関東信越国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。今という瞬間を精一杯頑張った結果の輝きだと思います。

体育祭は4年ぶりに縦割りでの開催となり、5つの団に分かれて競技も応援も大いに盛り上がりました。



文化祭も、合唱祭では美しいハーモニーが体育館に響き渡り、学習発表もモザイクアートや書道パフォーマンス、理科の実験教室と文化の香りが感じられるものとなりました。

どちらも、生徒会を中心に実行委員を組織し、生徒主体の行事となりました。なかまと共に100%頑張ったからこそ得られる充実感を、生徒の皆さんは感じることができたと思います。



中学生として、いろいろな悩みを抱える時期ですが、悩みを解消しようともがいた先に、成長や成果が待っています。これからも、なかまと共に高めあい、みんなで頑張っていきましょう。

結びにこの一年、保護者の皆様のご理解ご協力があったからこそ、生徒の活躍が見られたと思います。保護者の皆様には、心より感謝申し上げます。

地域の皆様のご協力で実現



1年生 食に関する講演会

卵の生産と販売を行う会社の方が来校。卵の栄養、生産から販売までの過程などの説明に耳を傾けた。



2年生 職場体験活動

51の事業所に協力いただき、コロナ禍で中断していた職場体験活動が再開。



3年生 租税教室

土浦税務署の方が来校。税の仕組みについて講演。社会科係が1億円の重さを体感した。

伊奈中NEWS

学校公開日

1 2月6日(水)、第3回の学校公開日。34の授業を公開。

3年生の授業を参観した保護者は、「目に入れても痛くない娘の、義務教育最後の参観でした。学校が開かれていることに感謝です。」と話していた。



つくばみらい市の自然について考える ～教科等横断的な視点で～

3年生では、つくばみらい市の自然や環境を守り、発展させていくために自分には何ができるかを、教科を越えて学んでいる。

理科では、屋外で自然観察。環境を守る活動をしている方の話を聞き、水質検査などを通して、つくばみらい市の環境を学んだ。



道徳では、1997年に日本海で発生したナホトカ号の重油流出事故後に、海を守るために立ち上がった人々について書かれた話を題材に、海を守ろうとした人々に思いをはせながら、つくばみらい市の未来について、グループで意見を述べ合った。



授業を終えた生徒は、「人間だけが過ごしやすい社会ではなく、植物や動物などにも過ごしやすい社会になってほしい。」と話した。

保護者、先生、そして一緒に練習した生徒からの贈り物 ～市P連主催ソフトバレーボール大会～

スポーツ振興パークみらい体育館で、つくばみらい市PTA連絡協議会主催のソフトバレーボール大会が行われた。保護者と教員で構成される豊小学校との合同チームを結成した。10月から週1回、練習を重ねて大会に臨み、優勝を勝ち取った。



「今回の優勝は、保護者、先生、そして練習を一緒に行ってくれた生徒のお陰。練習がとても楽しく、その結果優勝できたことは、伊奈中にとってとても素敵な贈り物だった。」と、練習に参加した保護者。

伊奈中をもっと好きになってもらえるような広報誌を ～第45回全国小・中学校PTA広報誌コンクール「奨励賞」受賞～

このコンクールは、日本PTA全国協議会が、小・中学校で発行するPTA広報紙を募集し、優秀な作品を表彰する取組で、各都道府県のPTA連絡協議会の推薦を受けた広報誌が審査を受ける資格がある。本校では、初応募にも関わらず、「奨励賞」を受賞。



(写真は保護者提供)



日々の生徒の様子や、学校からのお知らせなどをホームページに掲載しています。

右のQRコードを読み取って、スマートフォンやタブレット等からご覧ください。



伊奈中学校